

NetSuite 2023 リリース 1 によるプロジェクトのライフサイクルおよびサービス企業のキャッシュ・フローの最適化

Joseph Clancey、プロダクト・マーケティング・アナリスト

サービス企業に対するインフレの影響は、製品ビジネスに対するものほど甚大ではありませんが、2023年の計画においてもインフレが主要な要因であることに変わりありません。

人員不足により外部の助けが必要となる可能性があるにもかかわらず、金利と給与の圧力は強まっています。プロフェッショナル・サービス組織は、業務効率とキャッシュ・フロー(新しいビジネスを行うための雇用やその他のニーズのために資金の制限を解くかどうか)の両方を改善するために必要なものを活用しようとしています。エンドツーエンドの可視性、会計と請求の柔軟性およびプロジェクトのきめ細かな制御も役立ちます。

これはまさに、NetSuite リリース 2023.1 が提供するものです。

収益を認識するための原価ベースの進捗率方式

作業が数か月または数年に及ぶ場合、財務は、プロジェクトの進行に伴って、複数の会計期間をまたいだ収益と原価を正確に認識する必要があります。NetSuite の Project Cost to Cost Percent Complete SuiteApp とアドバンスト収益管理を組み合わせることで、プロジェクトのどの段階にあってもこれらの洞察を得ることができます。

Project Cost Percent Complete

Submit Cancel

Project Filters

SUBSIDIARY *
Parent Company UK Subsidiary

CUSTOMER
Parent Customer

PROJECT
Sample Project

PROJECT MANAGER

PERIOD *
Oct 2022

ALLOW REEXECUTION

ALLOW PERCENT COMPLETE OVERRIDE

Project Details

Show: 10 1 of 1 < > Total: 1

PROJECT	CUSTOMER	SUBSIDIARY	LAST EXECUTION PERIOD	LAST PERCENT COMPLETE	COST BUDGET	ACTUAL COST	PROJECT PERCENT COMPLETE	OVERRIDE REASON
Sample Project	Parent Customer	Parent Company					100.00	Adjusted Value

Submit Cancel

詳細な監査証跡を入手し、パーセントの計算に伴う煩雑な手作業を排除し、準備された正確でタイムリーな収益の数値を利用し、プロジェクトの現時点に基づいて収益を認識できます。

より柔軟な請求による顧客のニーズへの対応

標準化はサービス企業の目標ですが、実際はプロジェクトには依然として様々な交渉済時間単価およびマイルストーンがあり、間接費や繰返し経費などの様々な固定費用があります。さらに、キャッシュ・フローにおいては迅速で正確な請求が重要です。

NetSuite の課金ベースの請求は、企業の売掛金プロセスに合わせて顧客固有の請求ルールを構成するツールを財務チームに提供する簡単なソリューションです。

NetSuite 23 リリース 1 の課金ベースの請求では、次のことが可能です:

- プロジェクト・レコードを介して、または顧客レコードに対して直接課金を作成します。
- 様々なサービス、費用、またはマイルストーンの達成について請求可能レートを簡単に計算し、正確な請求書を迅速に生成します。
- 課金ベースの請求の夜間実行中にレコードを自動的に更新します。

プロジェクトが終了とマークされると、「完全請求済」という表記がプロジェクト・フォームの上部に表示されます。財務は、請求金額と収益認識金額をチェックして仕訳入力を自動的に作成する照合プロセスをトリガーできます。

柔軟性と透明性を高める必要がある場合はどうでしょうか。ユーザーは、計算された進捗率を確認し、必要に応じて手動で上書きを実行して、特定の期間について現在のステータスと収益が正しいことを確認できます。

Project 360 ダッシュボード: より詳細な表示

Project 360 ダッシュボードは、主要指標、レポート、プロジェクト・ステータスおよび SuiteProjects 全体のリソースが一元化された 360 度ビューにより、プロジェクト・マネージャーに幅広い洞察を提供します。

2023 リリース 1 の機能改善では、ユーザーのロールがより詳細に考慮されるようになり、遅延をなくし、予算内に収めるためにそのユーザーが注意を払う必要があるプロジェクトの詳細が迅速に識別され、適切なビューで表示されるようになりました。たとえば、ダッシュボードのすべてのフォーカス・ページのオンとオフをクリックして切り替え、自分が説明責任を担うプロジェクトのみを表示します。

また、顧客満足度およびプロジェクト収益性を確保する役割を担うのは、プロジェクト・マネージャーに限られません。そのため、ダッシュボードには、部門に影響を与えるプロジェクトに関心のある部門長や、チーム・メンバーが取り組んでいることを把握する必要がある監督者など、より幅広い NetSuite ユーザーもアクセスできるようになりました。

リーダーは、5つのアクセス・レベルから選択して、特定の NetSuite ユーザーまたはロールがダッシュボードで表示できるものを定義できます:

自分に割り当てられたもの: このアクセス・レベルは、1つ以上のプロジェクトを管理し、ポートフォリオ固有およびプロジェクト固有の詳細にアクセスする必要がある個人を対象としています。

自分の部門のみ: ユーザーの部署または部門のプロジェクトのみを表示します。

自分の部門階層: このアクセス・レベルには、ユーザーの部門およびサブグループにタグ付けされたプロジェクトが表示されます。

すべてのプロジェクトの表示: このアクセス・レベルは、進行中のすべてのプロジェクトに関する洞察が必要なエグゼクティブに、KPI およびその他のプロジェクト情報を含むスナップショットまたは詳細ビューを提供します。

部下のプロジェクトの表示: ユーザーの部下に関連する進行中のプロジェクトに関する洞察を提供します。

また、ポートフォリオ画面に新しい粒度が提供され、ユーザーはプロジェクト、顧客、プロジェクト・マネージャーおよび期日でフィルタリングできるようになりました。

OpenAir の更新

OpenAir のお客様には、ニーズを最大限に満たすようにプロジェクト・センター・ビューをカスタマイズできる、さらに強化された機能が提供される予定です。

OpenAir Mobile (4.4)アプリケーションの今後のバージョンでは、新しいタイムシートまたは経費精算書の作成、最新情報およびより簡単にタスクを選択するためのショートカットがホーム画面に表示されます。

OpenAir NetSuite Connector により、NetSuite との統合を綿密かつ迅速に実現でき、カスタム・エクスポート・ワークフローを作成できるようになりました。たとえば、新しい NetSuite Connector UI を使用している企業は、OpenAir でレコードを作成および更新し、統合を実行して NetSuite で対応するレコードをエクスポートまたは更新できます。

NetSuite 2023 リリース 1 のすべての更新についてさらに学習する

NetSuite 2023 リリース 1 には、魅力的な新しい機能強化が数多く含まれています。機能の完全なリストとその使用方法については、必ず[リリース・ノート](#)を参照してください。

また、ハンズオン・アクセスにより新機能がお客様のデータ、ワークフローおよびカスタマイズでどのように役立つか試してみるために、[リリース・プレビュー・テスト・アカウント](#)も忘れずにお申し込みください。

上記の事項は、オラクルの一般的な製品の方向性の概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。マテリアルやコード、機能を提供することのコミットメント(確約)ではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないでください。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリース、時期および価格については、オラクルの単独の裁量により変更される可能性があります。